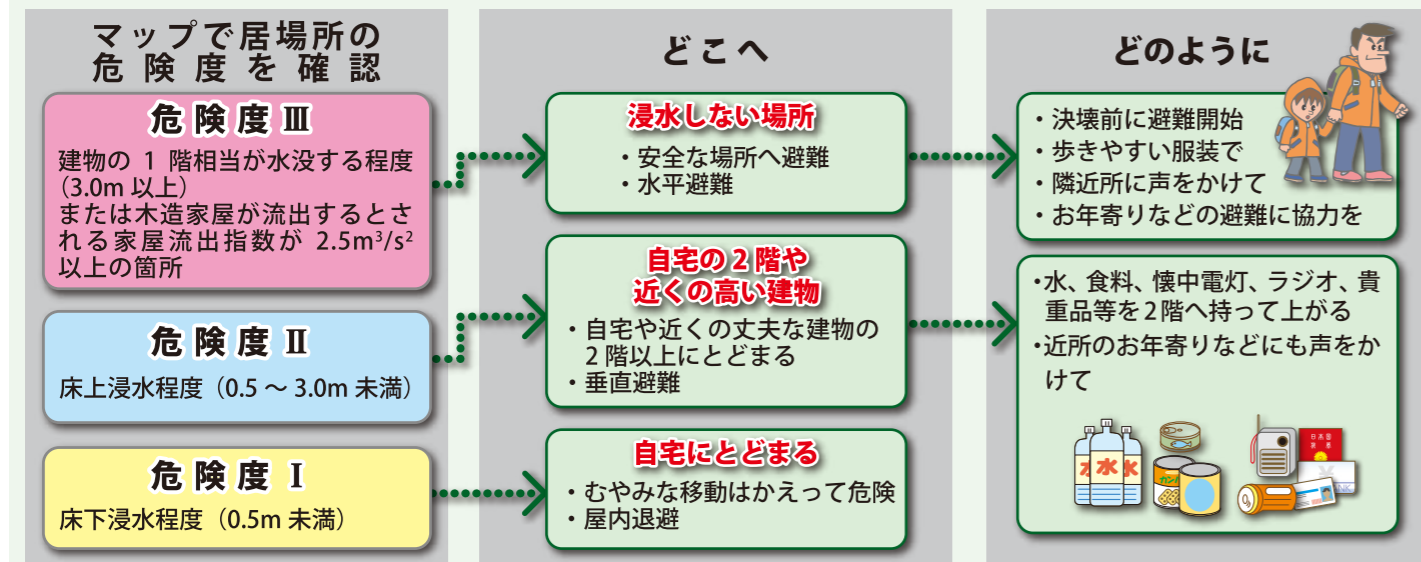


状況に応じた避難を！



近くに他のため池がある場合は、そのため池にも注意し、状況に合わせた身の安全確保をしましょう。

Point ため池決壊以外の災害も意識しよう！

ため池決壊のおそれがある状況では、周辺で右図のような災害も発生している可能性があることに注意をして避難しましょう。



防災情報の入手先

インターネット	メール・アプリ
気象庁 気象庁のホームページ 気象警報・注意報、地震情報など http://www.jma.go.jp	防災情報メール(登録制) 防災情報が自動的に配信されます。 touroku@osaka-bousai.net に空メールを送信してください。
大阪府 おおさか防災ネット 大阪府内の防災情報をまとめたサイト http://www.osaka-bousai.net 河川防災情報 府内各地の雨量、河川水位、洪水予報など http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html 土砂災害の防災情報 http://www.osaka-bousai.net/sabou/index.html	大阪府 右のQRコードを携帯電話で読み込んでメールを送信することも可能です。
池田市 池田市市のホームページ 避難勧告などの情報や各種災害情報 http://www.city.ikeda.osaka.jp ツイッター 池田市危機管理課 @kikikanri1 (リンク https://twitter.com/kikikanri1) フェイスブック 池田市消防本部 http://www.city.ikeda.osaka.jp/homepage/official/1475208751314.html	携帯事業者 緊急速報メール(登録不要) 各社 防災アプリ※

※防災アプリとは：防災アプリケーション
 スマートフォンにインストールしておく、緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などをいち早く知らせしてくれます。
 (各社防災アプリのサイトより、ダウンロードしてください)

ため池の日常管理のポイント

- ① 上流の山林に余水吐を塞いでしまいそうな倒木等がないか確認しましょう。
- ② 堤体の草刈りを行い、漏水やはらみだし等がないか点検しましょう。
- ③ 余水吐の清掃を行うとともに、土のう等による水のせき止めはやめましょう。
- ④ 貯水・取水は徐々に行い、急激な水位変化に注意しましょう。
- ⑤ 落水をして堤体上流側の侵食等の点検や取水施設の動作確認、修理を行いましょう。



緊急時の連絡先

池田市 072-752-1111

池田市消防署 072-751-0119

池田警察署 072-753-1234

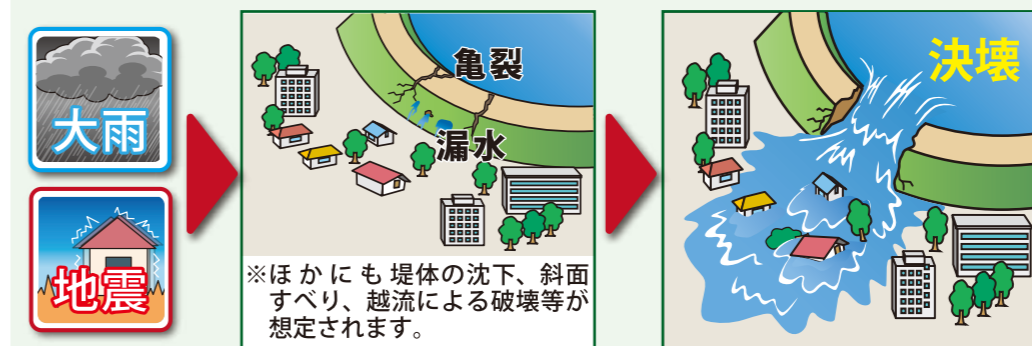
池田市ため池ハザードマップ【尻池・中池】

この「ため池ハザードマップ」は、尻池・中池が万が一決壊した場合に想定される浸水区域や危険度、および避難に役立つ情報を取りまとめたものです。ため池が決壊するおそれのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するために役立ててください。



ため池決壊の要因と特徴

ため池の整備規模を上回る大雨や大地震が発生した場合、ため池の堤体が損傷を受けることがあります。

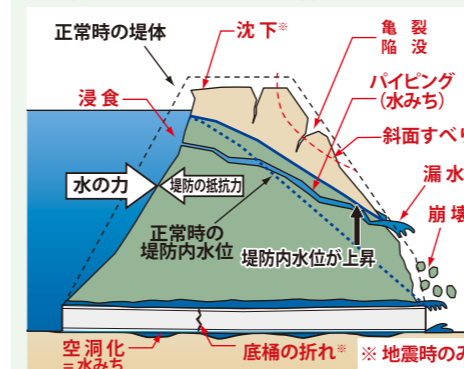


ため池災害の特徴

- 地震時は決壊の予兆がわからない場合があります。
- 決壊すると大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。
- ため池の下流では大きな被害になることもあります。

こんなとき、ため池が危ない！

危険なため池(堤体の断面図)



- 急激な水位上昇により、貯留水が堤体を越えようとする場合
- 漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- 堤体が陥没し、漏水が生じた場合



- 堤体に陥没や亀裂が発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

異常を発見したら市に連絡しましょう。

災害事例

平成23年3月11日
東日本大震災

地震により、福島県内では約750か所のため池が被災しました。
 また、同県須賀川市で藤沼湖が決壊し、死者・行方不明者8名の犠牲者が出る被害となりました。

池田市ため池ハザードマップ【尻池・中池】

凡例

- | | | |
|----------------------------------|--|--|
| | | |
| | | |
| ※土砂災害で使用できない指定緊急避難場所は、「●」で示しています | | |
| | | |
| ※広域避難地 (名称を緑色で記載) | | |
| | | |

危険度

- Ⅲ：建物の1階相当が水没する程度 (3.0m 以上) または木造家屋が流出するとされる家屋流出指数が $2.5m^3/s^2$ 以上の箇所
- Ⅱ：床上浸水程度 (0.5m 以上～3.0m 未満)
- Ⅰ：床下浸水程度 (0.5m 未満)
- 到達時間
- 土砂災害**
-
-

このハザードマップは、大雨や地震等によってため池が決壊した場合に、想定される浸水区域を示しています。浸水区域は、ため池が決壊してからの経過時間ごとの浸水範囲を重ね合わせ、その地点における最大危険度を表示しています。

【ため池氾濫の特徴】

- ため池が決壊により、一時的に大量の水が流れます。しかし、ため池に溜まっている水が全て流れ出せば終わりであるため、河川氾濫のように長時間浸水することはありません。
- ため池から流れ出た水の塊は徐々に下流へ流れていくため、ハザードマップに示された浸水想定区域全体が同一時間に浸水することはありません。

【はん濫シミュレーションの条件】

- 想定される最大規模のはん濫を想定しています。
- 決壊時のため池の貯水量は堤頂まで満水とし、地震または大雨等によって堤体が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
- ため池決壊の進行速度は、堤体の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤体がなくなると仮定しています。
- 決壊を想定した位置は、堤高が最も高い堤体中央付近とし、流れ出る水の量は尻池と中池の合計としています。
- 数値シミュレーションは、地形を 25m のメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。

【ハザードマップ活用の留意点】

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

